

邑楽町告示第78号

平成21年第2回邑楽町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成21年7月24日

邑楽町長 金子正一

1. 期 日 平成21年7月30日
2. 場 所 邑楽町役場 議 場
3. 件 名
 - 1 邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
 - 2 平成21年度邑楽町一般会計補正予算
 - 3 平成21年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算
 - 4 平成21年度邑楽町介護保険特別会計補正予算
 - 5 平成21年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算
 - 6 平成21年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算
 - 7 平成21年度邑楽町水道事業会計補正予算

○応招・不応招議員

○応招議員（13名）

1番	田部井 健 二 議員	3番	小 沢 泰 治 議員
5番	山 田 晶 子 議員	6番	岩 崎 律 夫 議員
7番	加 藤 和 久 議員	9番	小 島 幸 典 議員
10番	立 沢 稔 夫 議員	11番	小 倉 修 議員
12番	横 山 英 雄 議員	13番	本 間 恵 治 議員
14番	細 谷 博 之 議員	15番	相 場 一 夫 議員
16番	石 井 悦 雄 議員		

○不応招議員（なし）

平成21年第2回邑楽町議会臨時会議事日程

平成21年7月30日（木曜日） 午前10時開会

邑楽町議会議場

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 議案第36号 邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 第 4 議案第37号 平成21年度邑楽町一般会計補正予算
- 第 5 議案第38号 平成21年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算
- 第 6 議案第39号 平成21年度邑楽町介護保険特別会計補正予算
- 第 7 議案第40号 平成21年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算
- 第 8 議案第41号 平成21年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算
- 第 9 議案第42号 平成21年度邑楽町水道事業会計補正予算

○出席議員（13名）

1番	田部井 健二	議員	3番	小沢 泰治	議員
5番	山田 晶子	議員	6番	岩崎 律夫	議員
7番	加藤 和久	議員	9番	小島 幸典	議員
10番	立沢 稔夫	議員	11番	小倉 修	議員
12番	横山 英雄	議員	13番	本間 恵治	議員
14番	細谷 博之	議員	15番	相場 一夫	議員
16番	石井 悦雄	議員			

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金子 正一	町長
堀井 隆	総務課長
立沢 茂	企画課長
小島 哲幸	税務課長
中村 紀雄	産業振興課長 兼農業委員会 事務局局長
小倉 章利	生活環境課長
神山 均	保険年金課長
横山 正行	土木課長
石井 貞男	都市計画課長
増尾 隆男	住民課長
諸井 政行	福祉課長
飯塚 勝一	会計管理者 兼会計課長
沼田 正美	水道課長
河内 登	学校教育課長
大舩 一	生涯学習課長

○職務のため議場に出席した者の職氏名

田口 茂雄	事務局長
田部井 春彦	書記

◎開会及び開議の宣告

○相場一夫議長 ただいまから平成21年第2回邑楽町議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

[午前10時03分 開議]

◎諸般の報告

○相場一夫議長 日程に入る前に諸般の報告をします。

今期臨時会に説明員として出席通知がありましたので、写しをお手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

次に、監査委員から監査結果報告がありましたので、写しをお手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

本日の議事日程は、配付したとおりであります。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○相場一夫議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第117条の規定により、議長において岩崎律夫議員、加藤和久議員を指名します。

◎日程第2 会期の決定

○相場一夫議長 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。今期臨時会の会期は、本日1日としたいと思えます。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○相場一夫議長 ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定しました。

◎日程第3 議案第36号 邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する
条例の一部を改正する条例

○相場一夫議長 日程第3、議案第36号 邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

[金子正一町長登壇]

○金子正一町長 議案第36号 呂楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

職員の職務違反に対し、去る6月24日付で懲戒処分、分限処分を行いました。その監督責任を考え、平成21年8月1日より平成21年10月31日までの3カ月間、町長の現行の給料を10%減じることといたしました。今回のことを反省し、今後なお一層、職員の規律遵守を督励してまいりたいと存じます。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○相場一夫議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

本間議員。

○13番 本間恵治議員 ただいま町長のほうからる説明がありましたけれども、本来、町長の実弟である人の不祥事ということでこのような処分になりました。過去には、身内の方が不祥事を起こしたということで責任をとられ、教育委員をおやめになった方、また共済の関係で降格をし、半年ですか、停職を受けた方、いろいろ過去にもございます。そんな中で、町長がみずから処分を科したわけでございますけれども、その処分の重さに対してどのように受けとめておられるのかお伺いをいたします。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 お答えいたします。

実弟の関係ということのお話がありましたが、私自身は、そういう関係ではありますが、職員の職務違反ということを考えて処分をみずから行ったということございまして、特にその部分について、実弟であるから、あるいはそうでないからということでなくしてみずからの処分を考慮したということでございます。

○相場一夫議長 本間議員。

○13番 本間恵治議員 たまたま実の弟だったというふうな解釈もできるかもしれませんが、町の執行体制に対する士気についてどのようにお考えでしょうか、もう一度お伺いいたします。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 職員の士気につきましては、職員それぞれもち屋の分野で、十分その仕事について邁進をしているというふうにご考えております。したがって、先ほども申し上げましたが、今後もおなご一層、職員の規律については遵守をしていく、そのようなことを指導してまいりたい、こんなふうにご考えております。

○相場一夫議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第36号 邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○相場一夫議長 起立多数。

よって、議案第36号は原案のとおり可決されました。

◎日程第4 議案第37号 平成21年度邑楽町一般会計補正予算

○相場一夫議長 日程第4、議案第37号 平成21年度邑楽町一般会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第37号 平成21年度邑楽町一般会計補正予算（第2号）について提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億7,474万1,000円を追加し、予算の総額を68億3,563万3,000円といたしたい次第であります。

歳入については、国庫補助金の地域活性化・経済危機対策臨時交付金9,158万8,000円及び学校情報通信技術環境整備事業補助金115万3,000円、財政調整基金繰入金8,200万円の増額であります。

歳出の主なものは、賦課徴収費1億1,236万3,000円、地域活性化・経済危機対策及び情報通信技術環境整備事業の各種取り組みに9,274万1,000円の増額と人件費2,327万3,000円、中学生国際交流事業中止による309万円、長柄小学校校庭整備事業400万円の減額等であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○相場一夫議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

本間議員。

○13番 本間恵治議員 当初予算で基金を取り崩し、議会の賛成多数でそれが可決され、今回の補正に至ったわけでございますけれども、こういう事態が来るのは当初からわかっていたはずでございます。ですから、私は基金の取り崩しはならぬということで反対をいたしました。それにもかかわらず、また基金を取り崩しての補正予算の組み方、これは当初予算で基金を取り崩さないで、それで今回取り崩すということであれば私はしようがないのかなというふうに思いますが、先を見る目

がちよっと甘過ぎるのではないかと、この予算の組み方においては私はそう思っております。

町長は、この補正予算の基金の取り崩しに当たりまして、当初予算、最初から基金を取り崩したこの予算の執行に対してどのようにお考えなのか、お考えをお聞かせ願いたいと思います。

○相場一夫議長 堀井総務課長。

○堀井 隆総務課長 財政調整基金につきましては、議員ご指摘のとおり、当初13億2,000万円余のお金がありまして、当初で1億600万円取り崩し、今回8,200万円、合計で取り崩し額が1億8,800万円となっております。そういう経過の中で、当初から基金を取り崩さずに組めればよかったですけれども、大変厳しい財源の中で組んで、今回も予想以上の法人町民税を中心とする還付が出てしまったということをお願いをしているものでございます。

○相場一夫議長 本間議員。

○13番 本間恵治議員 私は総務課長にお伺いしたのではありません。町長にお伺いをいたしました。総務課長がかわって答えたのであれば、それは仕方ないのかなと思いますが、町長はえてしてだれと同じですという言い方を必ずします。自分としての考えをきちんと述べられるほうが私はいいのかなと思います。

では、この補正予算、基金を取り崩した中で、ここで議決するような運びになるかもしれませんけれども、それでは来年度の予算はどのようにお考えですか。しっかりとした見通しをお聞かせ願いたいと思います。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 先を見る目が甘いというご質問ですが、議員もご承知のように、去年の後半から大変な経済不況ということです。総務課長がお答えをしたように、特に会社関係の事業収入が減じていると、したがって、予定納税をいただいた法人町民税の還付ということの発生が生じたと、その主なものについては、1億1,000万の主な内容がそのような状況であります。したがって、経済状態の変動ということ等を考えていく中で、今回の補正は財調取り崩しということをお願いしているということです。

さて、22年度をどのように考えるかということですが、これはもちろん、本間議員が言われますように、その時々状況に応じて予算執行、予算編成、予算の積み上げをするということは必要であると思っておりますし、これはとりもなおさず、町民の皆さんのサービス等の要望もあるだろうと思いますが、その状況によって圧縮するものもあるでしょうし、あるいは増額をするということもあるだろうと思います。今後、22年度に向けて、過去の事業実績等を考慮した中で積み上げをしていくということの考え方でありますので、常々私も申し上げておりますが、行政運営については効率的に慎重にやっていきたい、こんなふう思っております。

○相場一夫議長 本間議員。

○13番 本間恵治議員 口で言うのは簡単です。実行に移すときにきちんとした対応をしていただけ

れば、何も私は言うことはございません。基金を取り崩すことがどんどん、どんどんエスカレートしていくのはもう目に見えています、今の町長のお考えの中では。ことし景気が悪ければ、前年度の所得に対して課税はされるのです。ことしの所得が少なければ税金は当然落ち込むのです、来年はもっとさらに。そのときそのときの状況で、使えるものは使う、使わなくするものは使わない、口ではそう簡単に言いますが、私はそんなに簡単に、来年度の予算が立たなくなるのではないかなというふうに思っています。私は、この補正予算に対してちょっと甘いのかな。なぜならば、基金を取り崩すのは簡単ですが、その基金の取り崩しをいかに少なくするのか、それは今の執行側に課された役目でもございます。ですから、当初予算を見直して、削れるところは削って、それで補正に出してくるのであればわかりますけれども、ただ基金から取り崩しをし、国の補助金をもらった範囲内で学校のトイレを直したり、そういう対応をする。簡単に考えておりますけれども、来年度に向かう事業計画に基づいてその予算を使うのであれば、来年度の予算は少し少なくても済むのかな、そういう事業の取り組みも私はあると思います。ですから、そういう中で、少しずつ経済をとりながらやはり補正予算を組んでいくのが執行側に課せられた役目だと思いますので、町長はちょっと考えは私は甘過ぎるのではないかと、そういうふうに指摘をし、これからの財政運営、そして執行体制に対してもっともっと少ない予算で最大の効果が得られるように努力をお願いして、私の質疑とさせていただきます。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 財政調整基金の部分が中を占めておりますけれども、この財政調整基金、私がこういう立場でお世話になったときの財政調整基金の残額11億8,600万でありました。先ほど総務課長がお答えしましたように、現時点では13億2,000万円、私は積み立て基金については、少なくとも財調の取り崩しをできるだけ抑えていきたいという考え方で実施をしているつもりではあります。20年度の決算も近々報告をする機会もあるわけですが、過去においては単年度収支、それぞれ毎年赤字であったわけですが、おかげさまで若干の黒字に転じたということの報告もいたしております。後ほど正確にご報告する場があると思いますが、そのように、町政運営については、議員の皆さんのご指摘はもちろんですが、職員一丸となりまして効率的な財政運営に努めていくと、そういう思いでありますので、ぜひ議員皆さんにもご協力を賜りますようお願い申し上げたいと思います。

○相場一夫議長 本間議員、まとめをお願いします。

本間議員。

○13番 本間恵治議員 今、町長が引き継ぎしたときには11億8,600万の基金しかなかったということですが、そのときに久保田町長の残した繰越金はたくさんありましたよね。それを入れれば、この13億2,000万の基金よりはもっと多かったはずですが。基金という数字だけではないのです。繰越金も出ていたはずですが。それをそういう形の中でごまかすやり方は私はひきょうだと思います。

では、金子町長が今までやってきた中で繰越金をどれだけ残したのか言ってみてください。そういう対応の中で、基金を取り崩すのは簡単ですけれども、もし有事が起きたときには、基金がなければ町としての行政運営がおぼつかなくなるのではないかと私はいつも危惧しています。ですから、千代田町は人口1万人少なくとも18億の基金を持っている、邑楽町は人口1万人多いのですから、2万8,000人、本来であれば千代田に倣えば28億ぐらいの基金が私はあってもおかしくない、そういうふうに思っております。それからすれば、13億という数字は半分よりもっと少ないのです。そういうところをよく念頭に置いて、これからの行政運営に当たっていただきたいと思います。

○相場一夫議長 ほかに質疑ありませんか。

横山議員。

○12番 横山英雄議員 財調の取り崩しについては議会との協議を要するというふうなものを制定したはずですが、これが議会との協議ですか。議会でこの取り崩しについて協議をしたというのは私は記憶にないのですが、議長はやったと思っていますか。

それと、先ほどもちょっと出ましたけれども、受け継いだときには11億の財調だったと。私が13億だと、5億5,000万の繰越金、それを半分積んで、半分は使ってしまって、数字でごまかすのではないです。そして、邑楽、館林、この近在は土砂崩れや大きな災害はないと、そう思っておりましたけれども、館林があのような竜巻によって災害が起きた。そういうときに、財調、そういうものがなければ即対応できないと、そういうときに使うのであればすぐにでも賛同いただけると思いますが、ほか景気が悪いのだから、会社が予定納税をしたのを返さなくてはならないから財調を取り崩すのだと、そんな甘い考えでは今後先が心配です。

一般の家庭にしても、私は農業ですけれども、農家でも、コンバイン、トラクター、田植え機、運搬車、何でも新しくいいものが欲しいのですけれども、自分のうちの収入に見合ったもので返済できる、その範囲内で借金なり新しく購入したりはすると思うのですが、ないそでは振れないのです。町もその辺をしっかりと考えた上でやっていただかなければ大変なことになる。財調については議会との協議が必要、いつの間にかそれがなくなっています。その辺について町長の答弁をお願いします。

○相場一夫議長 堀井総務課長。

○堀井 隆総務課長 財調の関係につきましても事前協議につきましては、7月13日、全員協議会の席で行ったというふうに私のほうは解釈しております。

なお、ご指摘の町民税等の還付、予定納税の還付でございますけれども、当初予算等に盛りなかつた、あるいは突然のことですけれども、そういった見通しの甘さというのはご指摘のとおりでございます。今後は注意したいと思っております。

以上です。

○相場一夫議長 ほかに質疑ありませんか。

小沢議員。

○3番 小沢泰治議員 補正予算ということで、財調から8,200万円取り崩すということですけども、町長就任して間もなく2年になりますが、公約の中でスピードとまたトップセールスということで町のかじ取りをするのだということ、町民皆さん知っているかと思うのですが、そんな中で、増収増収のために町長の打った手、バブルがはじけて非常に厳しい中、またリーマン・ショックの後大変なわけですが、就任当初から非常に厳しい少子化、高齢化ということで時代が来る、わかりきっていたわけで、そういう中であるからこそスピードとトップセールスというキャッチフレーズを挙げたのかと思います。

そんな中で、この2年間、増収増収のために町長としてどんな施策をとったか、また自分がセールスをしたか教えていただけますか。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 私は、就任をさせていただいた以降、日々行政運営のために努力をしているということでありますので、今後も町民の幸せのために頑張っていきたい、こんなふうに思っております。

○相場一夫議長 小沢議員。

○3番 小沢泰治議員 個人の家庭でも、会社、企業でも行政でも同じだと思います。ただ事務をとっていけば世の中がうまくいくというのは、人口がふえて右肩上がりの経済情勢下であればそうなれると思うのですが、現下はそんな状況ではないと思います。そういう中で、今後町が豊かになるためにどのような施策をとるかお聞きしたいと思います。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 引き続き行政運営について自信を持って取り組んでいきたいと、こんなふうに思っています。

○相場一夫議長 小沢議員。

○3番 小沢泰治議員 就任して2年間過ぎようとしておりますけれども、自信を持ってもどうであっても、行政運営をちゃんとするのは当然なのですが、やはり入りをはかるためにどのようなことをするか、邑楽町として、あるいはこの東毛あるいは両毛、そういう中で邑楽町としてどう歩んだらいいか、やはりこの邑楽町を初め東毛が発展しなかったら、この地域に住む皆さんの幸せはないと思います。そういう中で、どのようにこれから取り組んでいくかお聞きしたいと思います。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 今回の補正の中身は、国も大変な経済状況の中で地域活性化を図るために、あるいは経済危機を乗り越えるということでそれぞれ各自治体に交付されたということもあります。町も同じような状況はあるわけですので、これは議員がご指摘をされると同時に、私どもも歳入確保には努めていくという、これは当然だと思っておりますし、今後も地域の皆さん、住民の皆さんにご

協力をいただいてそのような状況をつくっていきたい、こんなふうに思っております。

○相場一夫議長 小沢議員、まとめてください。

○3番 小沢泰治議員 ただいま町長からのお話、行政運営についてはということでお話ありましたが、やはりこの邑楽町が置かれている地域性、過日も館林、竜巻で大変なことが起こりましたけれども、天気予報を見ましても非常に高温だと、そういう中で、都心にも近いということもあり、非常に発展できる余地が邑楽町は特にあるかと思えます。そんな中で、ぜひ今回の国の経済に対する特別措置で354も4車線化します。また、122ともつながります。そういう中で、ぜひともこの動脈、354の広幹道の動脈が邑楽町の真ん中を通っているわけですから、ぜひこの辺の活用といいですか、そこを有効に活用できる、東毛の中心にある邑楽町ですから、邑楽町、町長が先頭を切って、この東毛圏が一体となって発展するようにぜひ取り組んでもらいたい。また、そうすることによって、今議論になっておりますけれども、道州制の問題につきましても、ここが必ずや核となる大きな都市の中心になると思えます。そういうことで、やはりトップが10年、20年、30年、100年先を見越した行動をとらなければ邑楽町の発展はないと思えます。分散する一方です。ぜひともそういうことを念頭に置いて、これからの町政運営に励んでいただければと思えます。

○相場一夫議長 ほかに質疑はありませんか。

石井議員。

○16番 石井悦雄議員 ただいまの還付金の支払いについて、財調の取り崩しということではいろいろ話題がありますけれども、財調については今初めての問題ではないのです。もうこれはずっと以前からあったのです。私は所管なので、余り詰めたことは申し上げませんが、ひとつ町長に聞きたいのは、還付金ということは、以前からも大なり小なり金額の差はあっても当然発生をしておったと思えます。今回はそれがたまたま大きい数字になったと、やりくり困って財調を取り崩すということだと思えます。

そこで、私が申し上げたいのは、長年の行政マンとして、それを町民に知らしめた中での町長でもございます。こんなときこそ、長年の職場にいた経験を生かして創意工夫されておればもっと捻出方法にいい道が開けたのではないかな、そんなふうに思っておりますけれども、いかがですか。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 先ほどもお答えをいたしましたけれども、1億1,000万円という還付金については、今まで想像を超えた中での還付事由が発生した、その原因は先ほどお答えしたとおりです。そういう中で、捻出方法ということのお尋ねですけれども、限られた中での運営ということになりますと、やはりその還付金の部分も、当然財調の中の積み立てにも一部が入っているというようなこともあるのかなと思えます。しかし、先ほど総務課長がお答えをいたしましたように、急激な、それも以前にも増して大きな数字の還付ということでもありますので、これは今後は、議員が指摘されますように、十分これは検討した中で取り組んでいかなければいけないのは十分承知しておりますが、あ

る種の検出方法は不可能だったと、そういうことでありますので、ぜひご理解をいただければと思います。

○相場一夫議長 石井議員。

○16番 石井悦雄議員 よく説明はわかるのです。でも、私が申し上げていることは、先ほども申し上げたように、所管の関係もございまして、数字的なことだけでないのです。町長に至るまでのことをよく考えてください。ある種の中には、私に任せてくださいということまであったように思っております。これは私ばかりでなく、多くの町民が正直言って期待しているのです。その期待にこたえていただきたいのです。特にこういう厳しい財政のときには、あれもやります、これもやりますも結構ですけれども、そういうことばかりではないと思います。町民の期待というのは、公約されたことばかりではないと思います。真に行き詰まったとき、厳しくなったとき、そういうときのやりくり、もっとわかりやすく言えば、へそくりまで使わなくとも何とか乗り越えていこうという気構えが私は多くの町民が期待しているのではないかな、そんなふうに思っております。昨今の経済状況を考えると、本当に来年は厳しくなると思います。決して厳しくなることはいいことではございません。でも、新聞、テレビ等で判断する限りでは厳しくなる可能性が大でございます。そうでなくてあってほしいと思いますけれども、こればかりはなかなか避けて通れない、そんな問題にもつながるのではないかな。

そこで、再度伺いますけれども、最善の努力した行政マンとしての結果がこういう状態だったのですか。もっとあのときにこうやっておけばよかったなという、そういうことはなかったのですか。しつこいようですけれども、お答え願いたいと思います。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 私自身は、その時々、誠意を持って真摯に仕事を進めているつもりです。政治あるいは行政は、その時々によってやっぱり環境も変わるだろうと思います。まさに今回の、昨年来からの経済不況で、大変な状況は邑楽町だけではないと思います。その中でいかに町民サービスを低下させないで、そして行政運営をしていくかということは大変創意と工夫は必要でありますし、職員にも常々そのような話はしております。したがって、本当に急激なこういった経済不況ということが、皆さん、多くの方が予想はできなかったのではないかなというふうに思うわけですが、しかし、結果としてそういう状況があるわけですから、その中でいかにそれこそ効率的にやっていくかが求められるわけでありまして、今後も十分その辺は意図して、もちろん町民の皆さんの協力をいただかなければなりません。私自身、職員一丸となって、ぜひ行政運営、停滞をしないような形で努めていきたいと、こんなふうに思っております。

○相場一夫議長 ほかに質疑ありませんか。

小倉議員。

○11番 小倉 修議員 予定納税に対する還付の1億1,000万円と、その財調だと。税務課長、い

ろいろ還付するというところで、企業の事業実績というのが大変下がったということでございます。ことしは、企業が非常に好転し、税金も一生懸命お払いしましょうと、給与所得も上がった中で従業員も大分潤っているということは私は全く聞いていないのですけれども、来年度になりますと、今の自主財源の中で考えますれば大変なことが私は起こってくるのではないかなと、そんな心配もあるのです。職員の給与だけではなくて、議員の給与まで考えなければならぬと、そういったような財政状況に私は追い込まれるのだと。あなたが言っている、町長が言っていることは、おらちべえが悪いのではないのだからしょうがなかんと、何のあなた、口先だけで努力をする気はないのだ。隣の千代田町が温かい飯を食べていても、邑楽町は茶漬飯が食べればいいやというふうにはあなたがやっているのではなるのかなと、そんなような心配が、心配ではなくて実現するのではないか。9月は財調のほうに幾らか残して入れて、ほんのわずか入れて大げさおろすというような22年度の予算編成がされるのではないかなと、だめになったから合併するべやなんて、そんなような状況に追い込まれるようなあなたは町政運営だと私は思っている。

税務課長、来年度の給与関係やら企業の見通しを考えた中で、邑楽町にとって自主財源が豊かになるか、大変厳しくなるか、どちらか教えていただきたい。税務課長。

○相場一夫議長 小島税務課長。

○小島哲幸税務課長 お答えをさせていただきます。

今の質問の中で、平成22年度における邑楽町の自主財源の見込みというお話でございますが、正直、一言で申し上げますと大変厳しいだろうというふうに推測をしております。

私のほうからは以上でございます。

○相場一夫議長 小倉議員。

○11番 小倉 修議員 私もきょうの議会にはいろいろ考えて出てきたのですが、数字というものは幾ら口先でごまかそうとしても必ず結果は出るのです。町民が豊かな生活だ、何だかんだと理屈を唱えても、結果は必ず出るのです。先ほど非常に厳しいと、私もそう思っている。あなたただよ、厳しいと思っていないようなことを言っているのは。

終わります。

○相場一夫議長 ほかに質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

本間議員。

〔13番 本間恵治議員登壇〕

○13番 本間恵治議員 議案第37号 平成21年度邑楽町一般会計補正予算について反対の討論をいた

します。

当初予算から基金を取り崩し、賛成多数で執行してまいりましたが、また今回の補正についてはさらに基金を取り崩すという対応が迫られております。私は、そんな中で、この補正予算に対して、どれだけ今までの予算執行の中で節約をし、その基金をできるだけ減らした中で対応してきたのか、そういう姿勢が私は執行側に見えない、そういうふうに思っております。ですから、私はこの一般会計補正予算については反対とさせていただきます。

以上です。

○相場一夫議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第37号 平成21年度邑楽町一般会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○相場一夫議長 起立多数。

よって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

暫時休憩いたします。

〔午前10時51分 休憩〕

○相場一夫議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

〔午前11時05分 再開〕

◎日程第5 議案第38号 平成21年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算

○相場一夫議長 日程第5、議案第38号 平成21年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第38号 平成21年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ301万8,000円を追加し、予算の総額を28億2,362万6,000円といたしたい次第であります。

歳入については繰入金を増額であり、歳出については人件費を増額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○相場一夫議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

石井議員。

○16番 石井悦雄議員 ちょっと伺います。

今、町長のほうから説明の中で人件費の関係がございました。数字がここに載っておりますけれども、特に職員の給与等でありまして、人件費以外に何か絡んでいるのですか、お尋ねします。

○相場一夫議長 神山保険年金課長。

○神山 均保険年金課長 お答えをいたします。

今回につきましては、人件費のことにつきましては、人事異動に伴いまして人件費の増額と、そして6月期末勤勉手当の凍結の0.2カ月分の減額でございます。

以上でございます。

○相場一夫議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第38号 平成21年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○相場一夫議長 起立多数。

よって、議案第38号は原案のとおり可決されました。

◎日程第6 議案第39号 平成21年度邑楽町介護保険特別会計補正予算

○相場一夫議長 日程第6、議案第39号 平成21年度邑楽町介護保険特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第39号 平成21年度邑楽町介護保険特別会計補正予算（第1号）について、提

案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,598万1,000円を追加し、予算の総額を13億3,150万9,000円といたしたい次第であります。

歳入については繰入金の増額であり、歳出については人件費の増額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○相場一夫議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第39号 平成21年度邑楽町介護保険特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○相場一夫議長 起立多数。

よって、議案第39号は原案のとおり可決されました。

◎日程第7 議案第40号 平成21年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算

○相場一夫議長 日程第7、議案第40号 平成21年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第40号 平成21年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ25万1,000円を減額し、予算の総額を3億5,653万5,000円といたしたい次第であります。

歳入については繰入金の減額であり、歳出については人件費の減額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○相場一夫議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

本間議員。

○13番 本間恵治議員 下水道事業についての補正予算には関係は余りないかもしれませんが、例えば町民が払う下水道の負担、そして新中野、明野終末処理場を持っている下水道の処理費、格差がたくさんあると思います。それについて、是正を過去に図ったことが1度、私が厚生・環境の委員のときにありましたけれども、それ以来その格差を見直すということを全然やっていませんけれども、それについて町長はどのように考えているのかを聞きたいと思います。

○相場一夫議長 沼田水道課長。

○沼田正美水道課長 下水道料金、そして明野、新中野のコミプラの料金の格差というご質問だと思います。

議員ご指摘のように、下水道料金につきましては、新中野、明野の料金に対しまして約4倍の格差があるというふうに認識をしております。下水道料金につきましては水道課の所管ということでございますが、明野、新中野につきましては生活環境課の所管ということで、私が課長になってからのその是正を図るということにつきましては行っておりません。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○相場一夫議長 本間議員。

○13番 本間恵治議員 町長は初めて聞いたのかわかりませんが、4倍の格差があると。これに対して、市街化区域、新中野、明野は下水道区域に多分入っていくのかなと思いますけれども、それについて、下水道が敷けたら4倍にするのかどうか、そういうことも考えた中で答弁をお願いしたいと思います。

○相場一夫議長 小倉生活環境課長。

○小倉章利生活環境課長 大変お世話になります。生活環境課、小倉です。

コミプラの関係についてお答え申し上げます。今までいろいろありましたとおり、金額につきましては格差があるということがございますが、新中野、明野の成立してきた経過がございます。明野、新中野につきましては、コミプラ全体につきましては、各個人の負担によりまして建設してきたと、処理場ないしは下水管の設置まで住民の方の負担、これは土地代に乗っかっているというようなことになると思いますが、そういうことで設置してきました。また、下水道はそういったつくり方ではないと思います。そうしますと、基本的に設立要件が若干違うという中で一概に費用を一緒にしていいかどうか、これはちょっと議論のあるところになると思います。ただ、議員おっしゃるように、最終的にそれが流域下水道と一緒にすることになりますと、これは料金格差が非常に問題になると、一緒にならなければならないと思いますが、その経過の中を十分議論しながら是正方針を考えていかないと。ならないと。

ただ、ご承知のとおり、使用料金だけでは済まなく、一般会計を入れている部分があります。それにつきましても、新中野が約450戸、明野が500戸、これらの仮に住宅が単独浄化槽がついていて、家庭雑排水が簡単処理をしていたとしますと、多分49年ごろから新中野が建設されましたので、多

々良沼自体は非常に汚染されてきただろうと、町の負担があったがゆえに非常に環境が守られてきたのではないかというような思いもあります。そういった意味では、ご指摘のとおり矛盾を含んでいますので、今後どう新中野、明野を組み込んでいくかということを議論しながら十分検討していきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと申します。

以上です。

○相場一夫議長 本間議員。

○13番 本間恵治議員 私は課長に聞いたのではなくて、町長にお伺いをしたのです。

というのは、最高責任者ですから、こういう現状を把握した中で町の対応をしていかなければならない、それが責任者としての課せられた使命だと思ひます。邑楽町の今申った明野、そして新中野は下水道区域に含まれていると思ひます。それは今後、下水道区域に含まれているということであれば、下水道をそこへ通していくのだというふうな中で整備がされていっているのではないかなと思ひますけれども、これについての格差をどのようにこれから結びつけていくのか、これは地域住民の人たちの考え方もありますし、協力も得ていかなければなりません。ですから、それについてきちんとした対応をとっていただけるように要望して、私の質問といたします。

○相場一夫議長 ほかに質問ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 質問なしと認めます。

これにて質問を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第40号 平成21年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願ひます。

〔起立多数〕

○相場一夫議長 起立多数。

よって、議案第40号は原案のとおり可決されました。

◎日程第8 議案第41号 平成21年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算

○相場一夫議長 日程第8、議案第41号 平成21年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

- 金子正一町長 議案第41号 平成21年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算(第1号)について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ925万3,000円を追加し、予算の総額を2億5,153万2,000円といたしたい次第であります。

歳入については繰入金を増額であり、歳出については人件費を増額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

- 相場一夫議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

本間議員。

- 13番 本間恵治議員 これも予算とは関係ないのですけれども、前に給食センターで不祥事が起きました。そして、かなり日数は経過しているわけですが、給食センターの建てかえということで、中学生の子ども議会というか、そのときに前の遠藤課長のほうから答弁があったわけですが、土地を6反ほど買うと、そしてまた、平成18年度でしたか、給食センターの試算をしたところ、18億ぐらいかかるというふうな報告がなされていたと思うのですけれども、町長はその道筋をつけるというふうな言い方の中で今現在を迎えているわけですが、給食センターについてはどのような現時点での運びとなっているのかお伺いしたいと思います。

- 相場一夫議長 河内学校教育課長。

- 河内 登学校教育課長 お答えを申し上げます。

学校給食センターにつきましては、ご承知のとおり、昨年6月にヒスタミンによる食中毒ということが発生しました。それを受けましていろいろな議論がございまして、今につきましては、建設検討委員会を去る6月に発足させて検討を始めたところでございます。そして、今後またすぐ第2回目等も近い将来と申しますか、すぐに実施をして検討をするところでございます。また、給食センターにつきましては、余り遅くない段階、極力早い段階で設計費等のお願いをまた皆様にさせていただきたいということで準備をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

- 相場一夫議長 本間議員。

- 13番 本間恵治議員 過去においては、当初予算で盛り込まずに、補正で出すから認めてくれというふうな対応を迫った部分がありました。本来であれば、子供たちのことを考え、きちんとした食事を提供するという考えからすれば、また不祥事が起きないうちにきちんとした対応をするのが当然のことです。

ですが、町長が就任して以来、当初は自校式がいいか、民間委託がいいか、集中方式がいいかというふうな言い回しの中で現在を迎えているわけですが、やはり遅いです。会議1回開いて、早速に2回目を開くというふうな話で今ありましたけれども、やはり事に当たる、目標をきちんと

掲げた中できちんとした対応をしていかなければ、いつになっても実現できないと私は思っております。そういう部分では、めり張りのついた、きちんとした執行体制を、給食センターを早急に子供たちのために真っ先につくるのだと、そういうことであれば、私は、1億2,000万ですか、国から来た、それをトイレの改修をしないでそれに振り向けてでも足してつくるのか、そういう対応も場合によってはとれるのかなというふうな気もしますけれども、やはり有効にお金を使うということも一つの方法でございまして、そしてまた、そういう不祥事があって、早急に対応しなければならぬというのは当然行政に与えられた役割だと思っておりますので、真剣に考えて、できるだけ早い時期にきちんとした対応をしていただけるようお願いして、私の質疑といたします。

○相場一夫議長 ほかに質疑はありませんか。

小沢議員。

○3番 小沢泰治議員 給食センターの件につきましては、会合を持たれたということで、初回の会合、会合を何回か持つわけでしょうけれども、過日の議会の質問でもお話ししましたが、ぜひ食材についての邑楽町の産品、現在の産品とは限らない、これからいろいろ抽出というか、拾い出した中で、ぜひ邑楽町の農業の活性化、それと食品加工業者の発展、活性化、そういうことを、事業、仕事量の増大ということをご念頭に置いて会議のほうを進めていただければと思います。

なぜかといいますと、ある意味、給食センターはプラントだと思いますので、ぜひそれを積極的に町長みずから先頭に立って実行していただければと思います。邑楽町のこれからあるべき姿、やはり農業は重要だと思いますので、その辺、取り組みについて今思いがあればお聞きしたいのですが。

○相場一夫議長 金子町長。

○金子正一町長 ご質問のように、食材等については、見える食材、地元で生産されたというものは大変大事だと思っておりますので、私も地産地消ということは大事な部分だと認識しておりますので、ぜひその辺もその会議の中には取り込むように申し上げたいと思っております。

○相場一夫議長 小沢議員。

○3番 小沢泰治議員 やはり、邑楽町の税収をふやす、財政を健全にしていくのには、農業にあっても、商業にあっても、工業にあっても、やはり伸びがなければそれを実現することはできないと思います。農業というのはすそ野も広いものですから、その辺、本当にこの給食センターの今後の取り組みによって邑楽町の農業あるいは加工産業というものが一変することもできるかと思っておりますので、ぜひ強力に進めていただきたいと思っております。

○相場一夫議長 河内学校教育課長。

○河内 登学校教育課長 お答え申し上げます。

邑楽町の材料ということでございます。産業振興課のほうでも地産地消協議会といったものも立ち上げております。給食センターにおきましても、それらとよく議論をして協議をしながら前向

きに検討をさせていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○相場一夫議長 小沢議員。

○3番 小沢泰治議員 邑楽町から現在生産されているものでなくて、そのほかにもいっぱいあるわけですから、それをやはり邑楽町の特産品になるような、あるいはなって、それを対外的に販売できる、そのような道筋をぜひつけるよう努力していただきたいと思います。

○相場一夫議長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第41号 平成21年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○相場一夫議長 起立多数。

よって、議案第41号は原案のとおり可決されました。

◎日程第9 議案第42号 平成21年度邑楽町水道事業会計補正予算

○相場一夫議長 日程第9、議案第42号 平成21年度邑楽町水道事業会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第42号 平成21年度邑楽町水道事業会計補正予算（第1号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、収益的収入及び支出において、支出を17万8,000円減額し、資本的収入及び支出において支出を18万9,000円減額するものであります。

収益的収支及び資本的収支の減額は、それぞれ人件費の減額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○相場一夫議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

本間議員。

○13番 本間恵治議員 利根川より引き入れている県水なのですけれども、当初、太田と大泉は見合

わせた中で邑楽町は先に受水したわけですがけれども、過去において県水の価格が多分安くなったと思うのですが、その金額についてわかったら教えていただきたいと思います。

○相場一夫議長 沼田水道課長。

○沼田正美水道課長 県水の料金の下がったことについてということでご質問かと思います。

今年の5月だったかと思いますが、料金が、従前の料金につきましては117円でした。それが110円に減額となりました。

以上でございます。

○相場一夫議長 本間議員。

○13番 本間恵治議員 この下がった金額ですが、水道料金には多分据え置きということで反映されていないのかなというふうに思っておりますが、水道事業については独立採算制という中で対応しているわけですが、邑楽町の一部、太田に接する部分では、邑楽町の水道料金よりも安い水道料金で太田から引き込んでいるところがあると思います。そういう中で、上がるのは本意ではありませんけれども、安くなる分については私はみんな喜ぶのかなと思いますけれども、きちんとした、そういう中で地域の住民に対する水道料金の差額を町民に還元すると、そういう考えがあるのかどうか、町長にお伺いしたいと思います。

○相場一夫議長 沼田水道課長。

○沼田正美水道課長 お答え申し上げます。

料金につきましてはでございますけれども、確かに県水につきましては、先ほど申し上げましたように1トン当たり7円ほど下がっておりますが、先ほどからの議論の中にありますように、昨年のリーマン・ブラザーズのショック以来、水道の給水料、激減をしております。昨年の11月期におきましては約700万程度の収益が落ち込んでいるというような状況の中で、また9月には決算議会ということがございますけれども、その中でもご報告申し上げるところでありますけれども、若干の利益は上がってはおりますが、非常に今後を考えますと厳しい状況があるのかなというふうに考えております。そうした中で、料金の見直しということにつきましては大変厳しい状況であるというふうに考えております。

以上でございます。

○相場一夫議長 本間議員。

○13番 本間恵治議員 私は、町長が一番執行者の責任者ですから、ある程度は把握しているのかなと思って町長に考えを聞いているのですが、全員課長が答えていると。そういう対応の中で、私が今まで申し上げたことを念頭に置いて、ぜひ課長会議なり執行側で話し合っていて、少しでも前向きに検討していただければと思いますので、よろしく願います。

○相場一夫議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相場一夫議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第42号 平成21年度邑楽町水道事業会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○相場一夫議長 起立多数。

よって、議案第42号は原案のとおり可決されました。

◎町長のあいさつ

○相場一夫議長 以上をもちまして、本臨時会の日程は終了いたしました。

閉会に当たり、町長から発言の申し出がありますので、許可します。

金子町長。

○金子正一町長 第2回邑楽町議会臨時会の閉会に当たり、一言あいさつを申し上げます。

一昨日逝去されました黒川洋子議員に対し、謹んで哀悼の意を申し上げるとともに、心からご冥福をお祈り申し上げるところでもあります。

さて、ただいま上程をいたしました議案第36号から議案第42号につきましては、原案どおり可決決定をいただきましてありがとうございました。今後も、行政運営につきましては、効率的な運営に努めてまいりたいと思っております。

議員各位におかれましては、暑さ厳しい折でもございます。健康に十分留意されまして、議員活動に精進されますようご祈念申し上げまして、御礼のあいさつとさせていただきます。大変ありがとうございました。

◎閉会の宣告

○相場一夫議長 以上で平成21年第2回邑楽町議会臨時会を閉会します。

ご協力ありがとうございました。

〔午前11時40分 閉会〕